

「The 本質」講座

深く・広く・正しく考える

【深く考える：本質】コース

出る杭の杜

本質とは何か？

古代ギリシャ時代からの謎

誰もが
本質は極めて重要なもの
と感じている

しかし
本質が何かを
学校でも会社でも
教えていない

【略歴】

- 「出る杭」歓迎であった成長期のソニーで、ひときわ「出る杭」ぶりを発揮、英国ソニー赴任期間中には、多国籍有志連合を結成して自らの企画を勝手に推進、世界に先駆けて、ソニーでも初のSCM革新を成功させた。
- ソニー後は、大手グローバル・コンサルティングファームの内、PwCでシニアディレクター(戦略)、IBMでアソシエイトパートナー(SCM)、キャップジェミニE&Yで最上級パートナー職であるヴァイスプレジデント(戦略、SCM)に就任。
NHKの特番となった大成功SCMプロジェクトの実績も持つ。
- 2004年に独立、出る杭の杜代表。
- 2014年より、ライフワークとして本質系イノベーション研修(通称:出る杭研修)を実施。
- 2021年より、日本科学哲学会会員

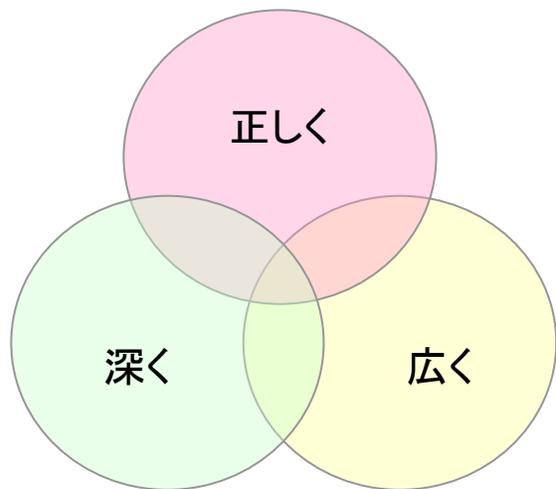
【執筆】

<書籍>

- 「ソニーをダメにした『普通』という病」(2008年) Amazon Kindleで総合1位、10万部のベストセラー
- 「イノベーター出る杭の本質思考 —GAFAを超える発想法—」(2019年) Amazon「経営科学」1位

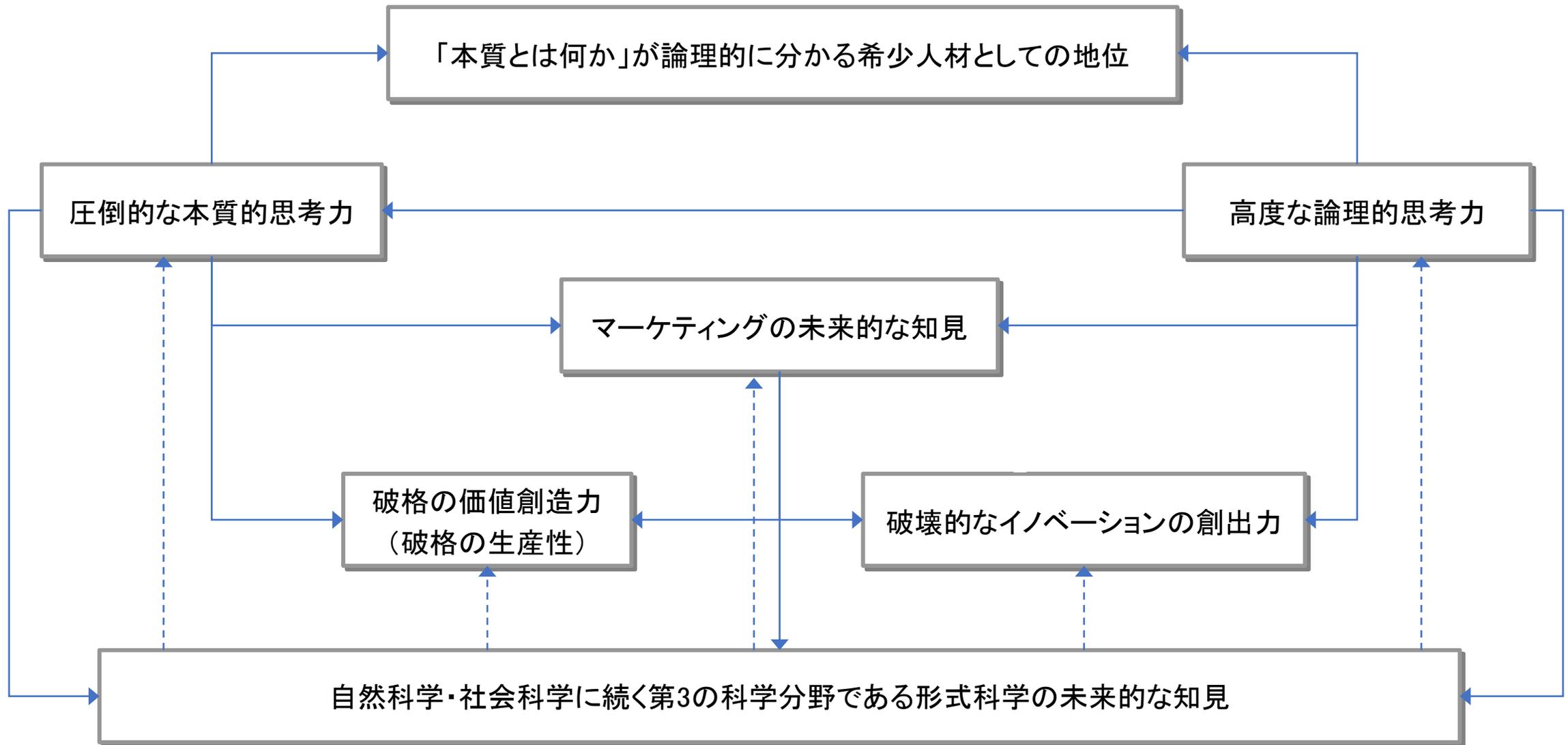
<コラム>

- 日経ものづくり 「『出る杭』を育てる時代」(2015年2月号～6月号)
- 日経ものづくり 「『出る杭』が拓く顧客視点のものづくり」を連載(2016年2月号～6月号)
- 日経×TECH 「出る杭コンサルの眼」を連載(2015年5月日～2016年5月)
- ダイヤモンドオンライン 「御社の『商品価値』はなぜちっともお客に響かないのか？」(2017年3月)
- 日経×TECH 「aibo登場！ソニーは『普通』という病を克服したか？」を連載(2018年1月)
- 日経×TECH 「出る杭コンサルの眼 II」を連載(2018年4月～2018年9月)



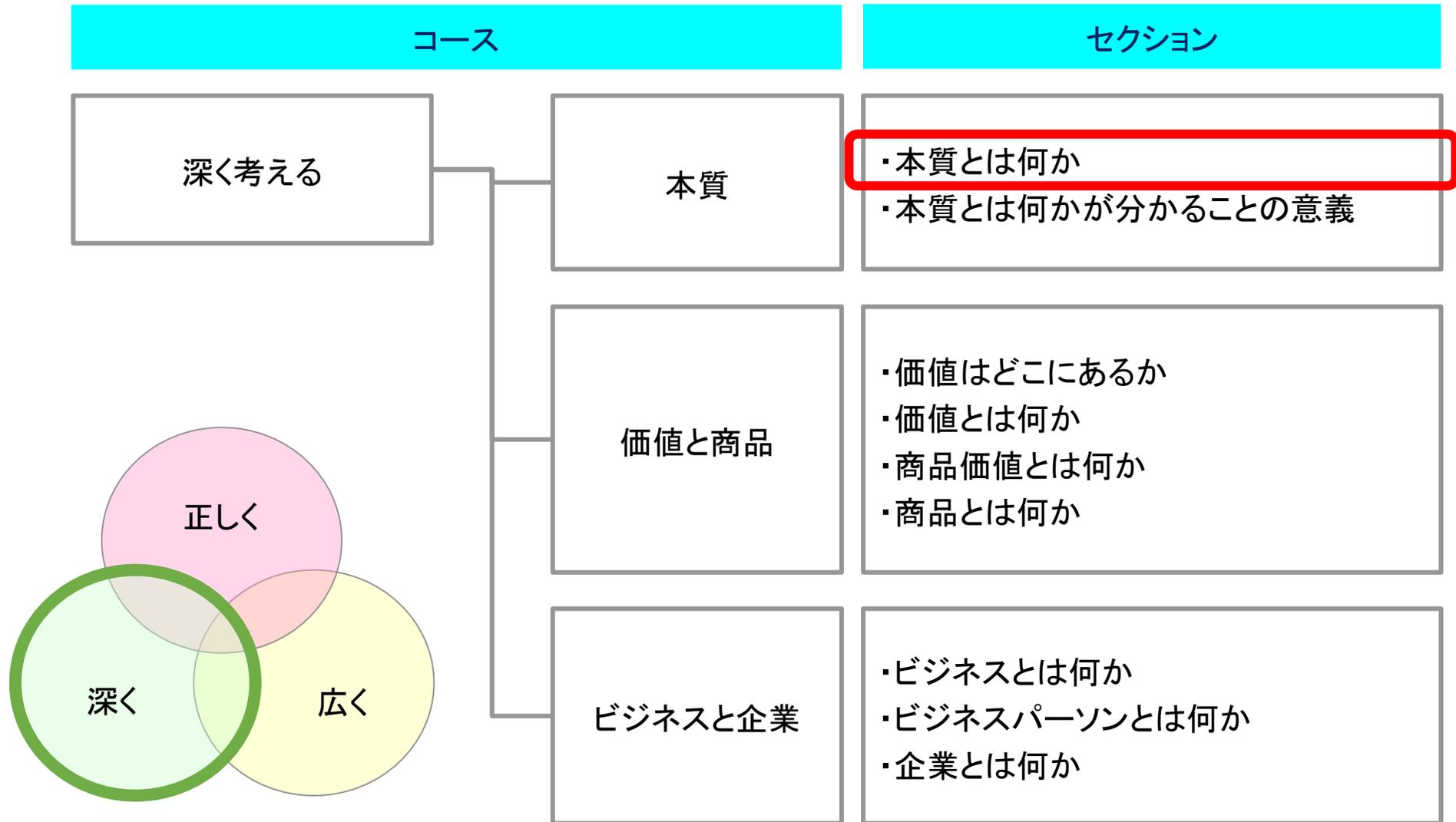
コース		セクション
深く考える	本質	<ul style="list-style-type: none"> ・本質とは何か ・本質とは何か分かることの意義
	価値と商品	<ul style="list-style-type: none"> ・価値はどこにあるか ・価値とは何か ・商品価値とは何か ・商品とは何か
	ビジネスと企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスとは何か ・ビジネスパーソンとは何か ・企業とは何か
広く考える	知性	<ul style="list-style-type: none"> ・データとは何か ・情報とは何か ・知識とは何か ・思考とは何か ・形式科学
	感情	<ul style="list-style-type: none"> ・感情とは何か ・人は何のために生きるのか
	良さと正しさ	<ul style="list-style-type: none"> ・良さとは何か ・正しさとは何か
正しく考える	論理的思考	<ul style="list-style-type: none"> ・論理とは何か ・論理的思考とは何か
	顧客と市場	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客とは誰か ・市場とは何か
	社会と経済	<ul style="list-style-type: none"> ・社会とは何か ・経済とは何か ・部分最適と全体最適
	夢	<ul style="list-style-type: none"> ・究極の商品戦略 ・夢の稼ぐ力

講座を通じて獲得していただくもの



深く考える

本質



世の【本質とは何か】
中は、本質とは何かが分かっていない

再掲

本質とは何か？

古代ギリシャ時代からの謎

誰もが
本質は極めて重要なもの
と感じている

しかし
本質が何かを
学校でも会社でも
教えていない

【本質とは何か】
本質とは何かを考えよう！

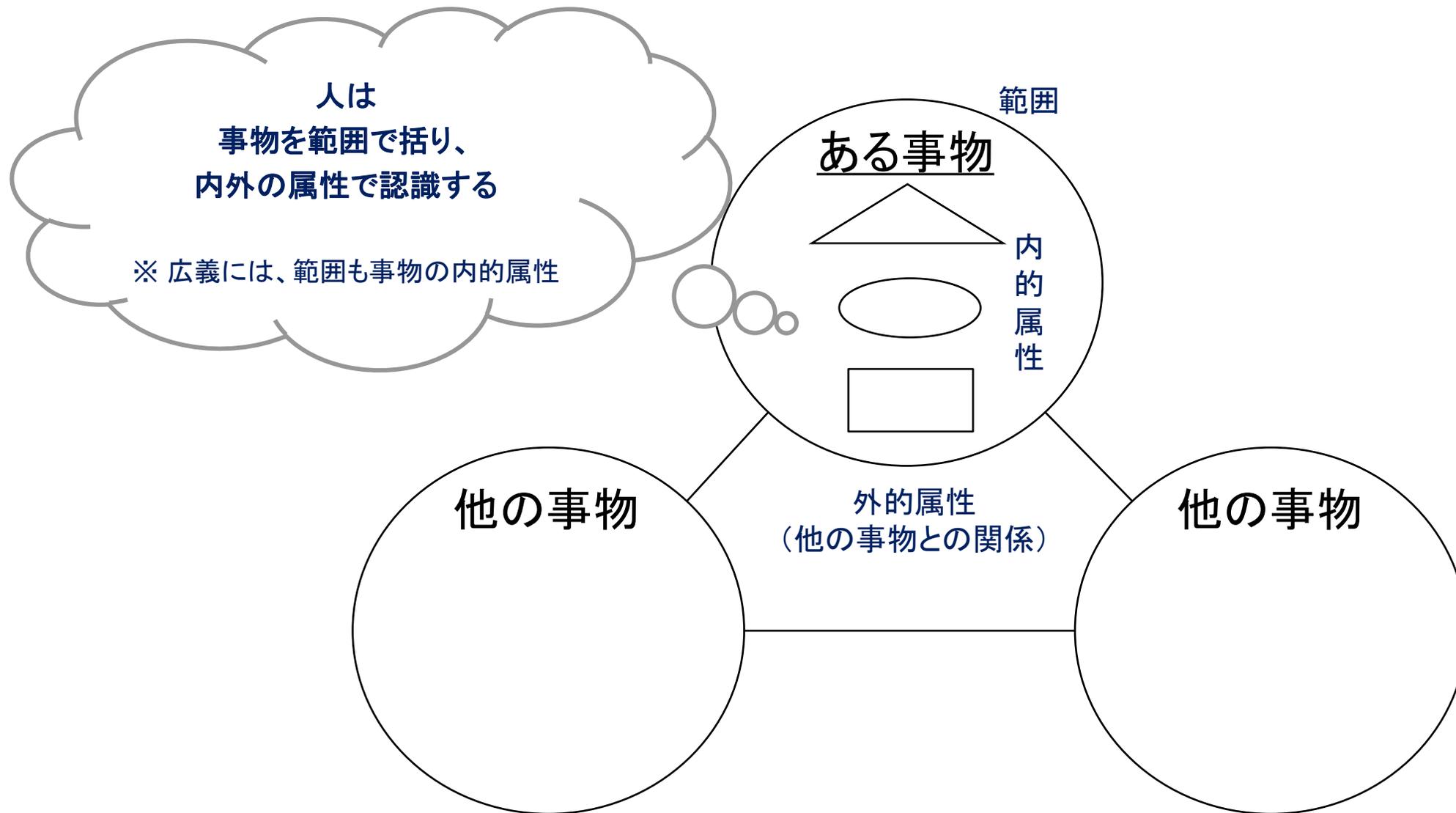
2千年超えの
人類の謎に
終止符を打とう！

Let's

Think !

【本質とは何か】

ヒント：人は、事物をその属性で認識する

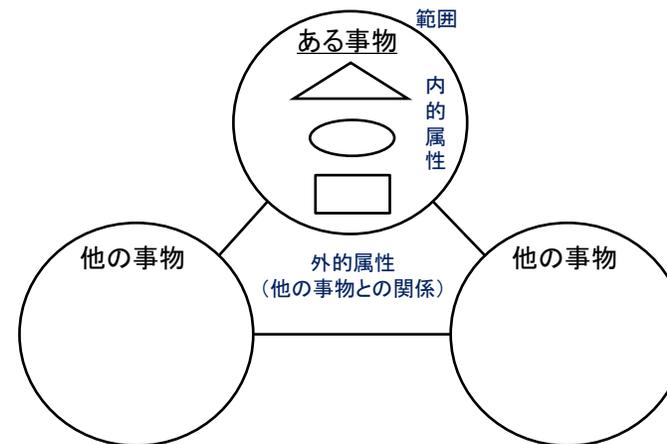


【本質とは何か】

ヒント： 哲学で言う本質とは、ある事物をそれたらしめるものであり、普遍的なものとなる

【 哲学で言う本質 】

- ・ある事物をそれたらしめるもの
※「本質とは、あるものをそれたらしめる自性」(Wikipedia)
- ・普遍的なもの



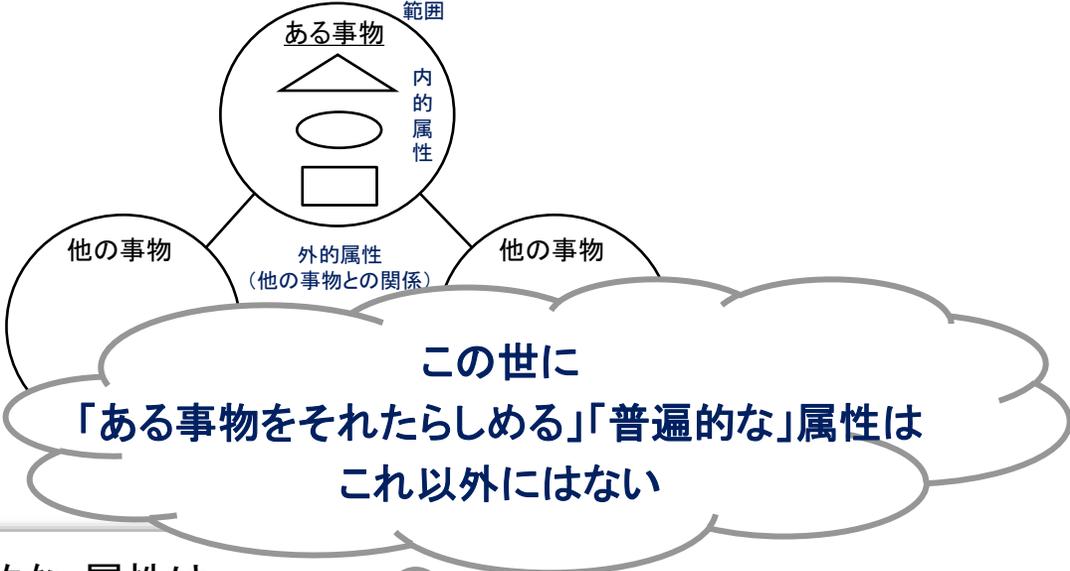
「ある事物をそれたらしめる」「普遍的な」属性
を探そう！



解答例： 本質とは、事物の普遍的な特徴である

【 哲学で言う本質 】

- ・ある事物をそれたらしめるもの
- ・普遍的なもの



「ある事物をそれたらしめる」「普遍的な」属性は
ある事物すべてに共通し、他の事物すべてに共通しない属性

本質とは、事物の普遍的な特徴である

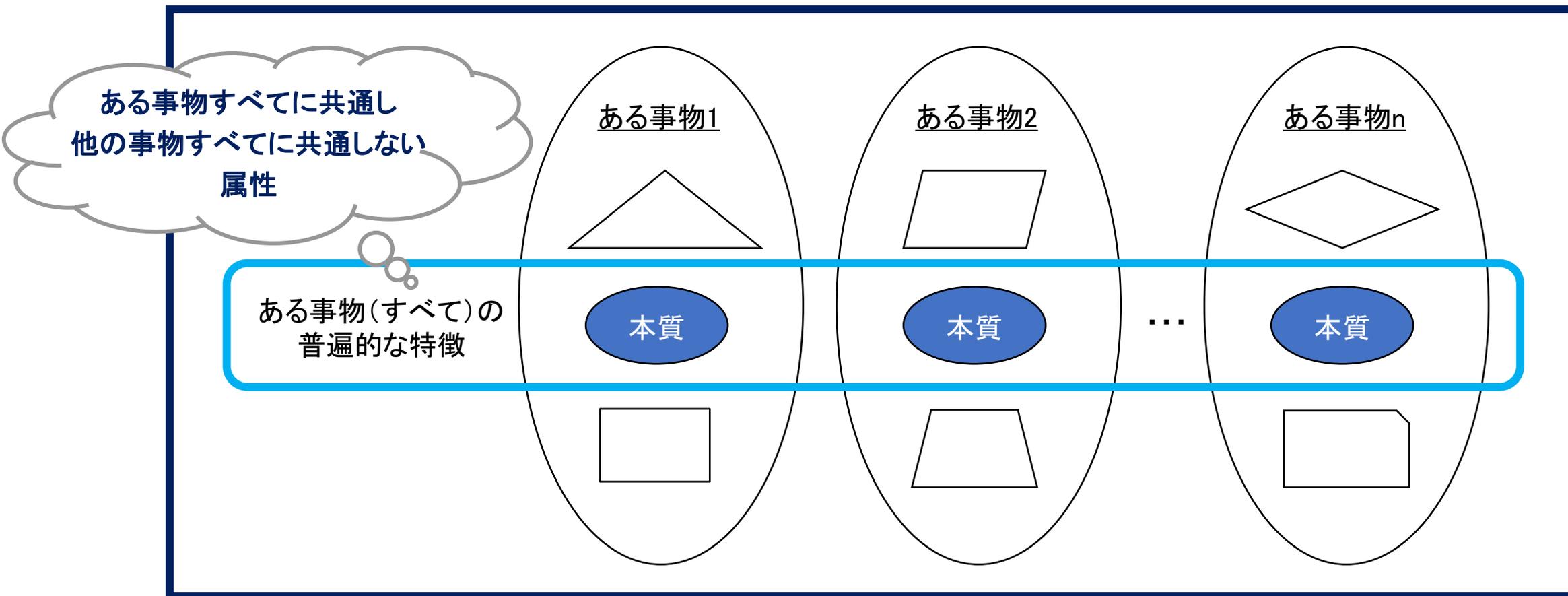


<例>
水の本質(普遍的な特徴): 水素原子二つと酸素原子一つの化学結合

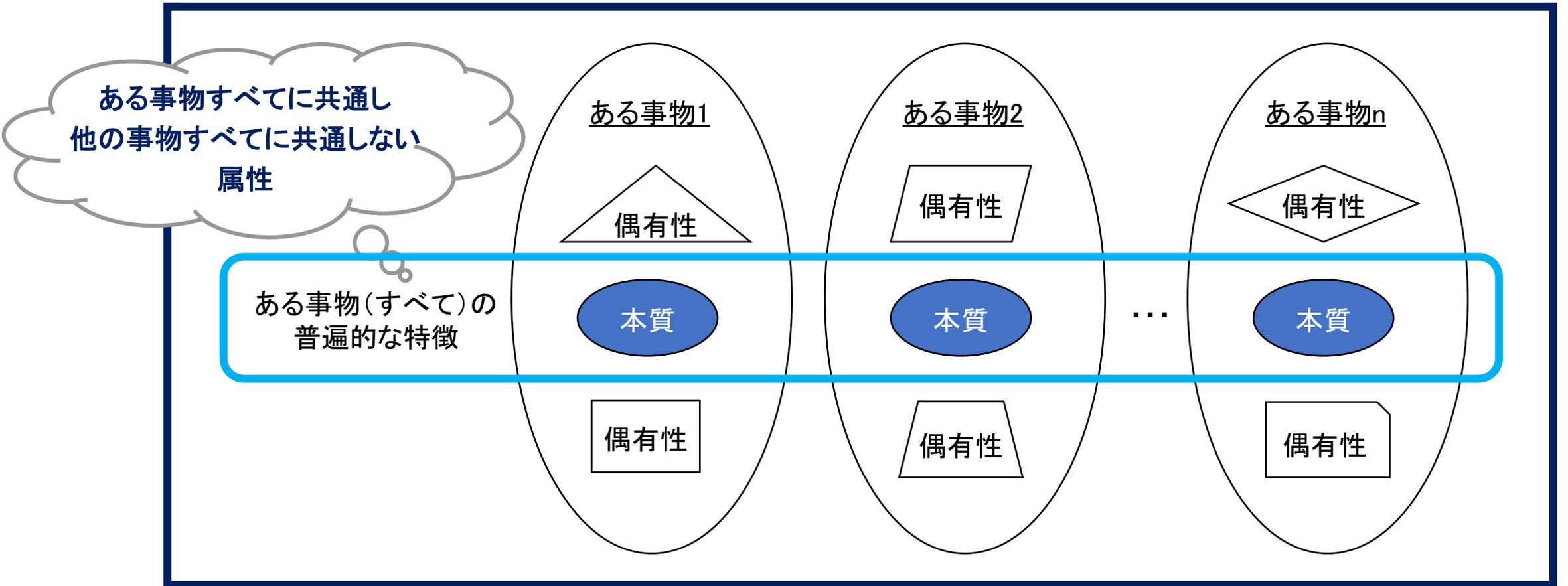
【本質とは何か】

補足： 本質は、普遍的な事物の本質であり、個別的な事物の本質ではない

ある事物(すべて)



ある事物(すべて)



※ 各個別的な事物の属性は、内的属性／外的属性の両方を意味する

本質は
一つの事物に一つしかない



実際は

本質(普遍的な特徴)は
一つの事物に複数あることもある

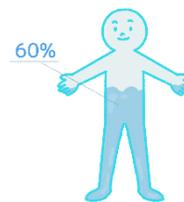
水の本質(普遍的な特徴)



水素原子二つと酸素原子一つの化学結合



沸点が100°Cである



人体の最大構成要素である

など

本質は
普段は事物の内部に潜んでいる



実際は

本質(普遍的な特徴)は
「普段は事物の内部に潜んでいる」
ものではない

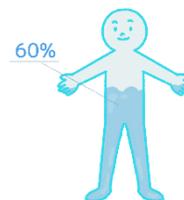
水の本質(普遍的な特徴)



水素原子二つと酸素原子一つの化学結合



沸点が100°Cである



人体の最大構成要素である

など

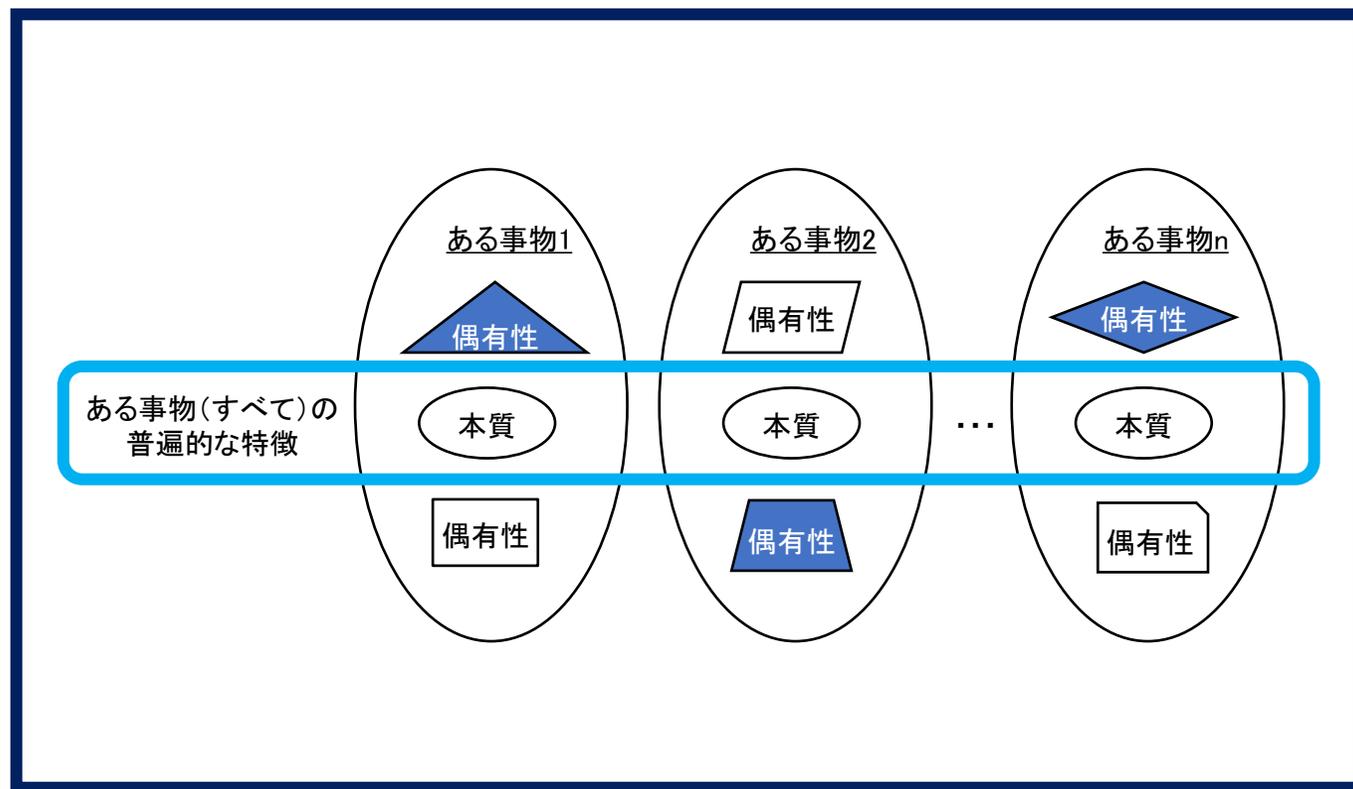
個別的な事物の本質がある

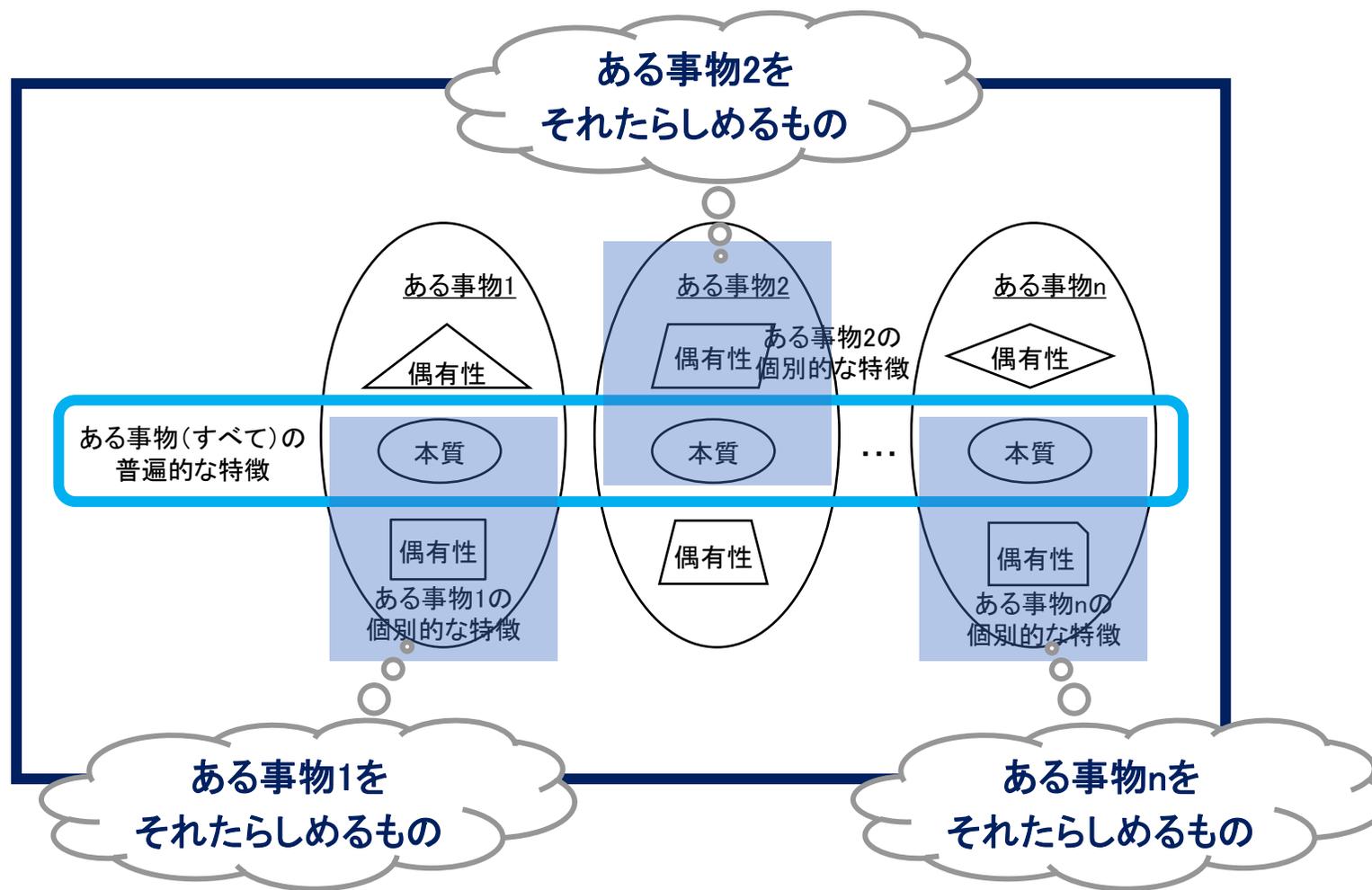
例：「この問題の本質」は・・・



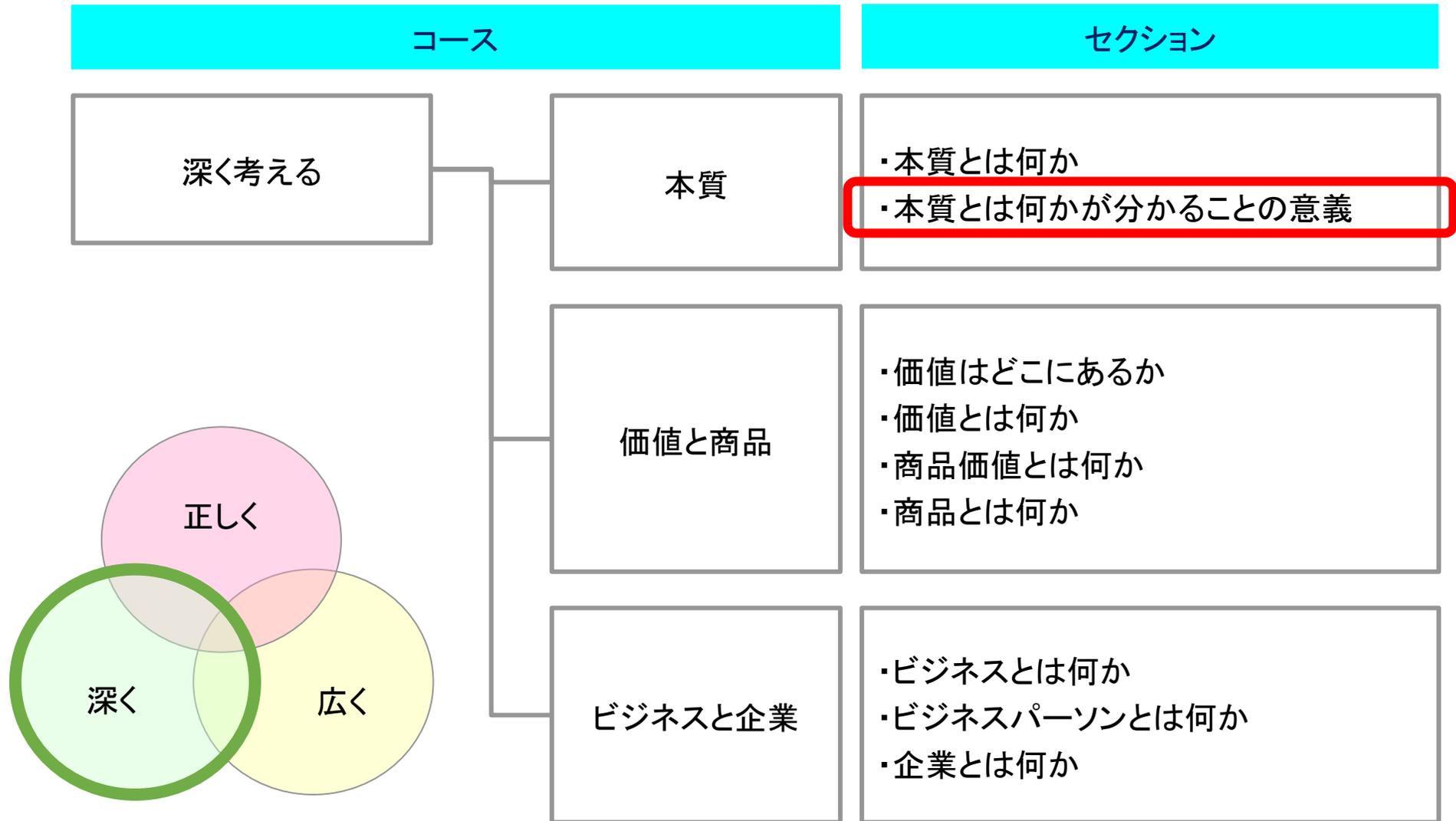
実際は

本質は普遍的な事物の属性であり
個別的な事物の本質とされるものは
通常、誰かが重要と考える偶有性でしかない





【本質とは何かが分かることの意義】



【本質とは何か分かることの意義】

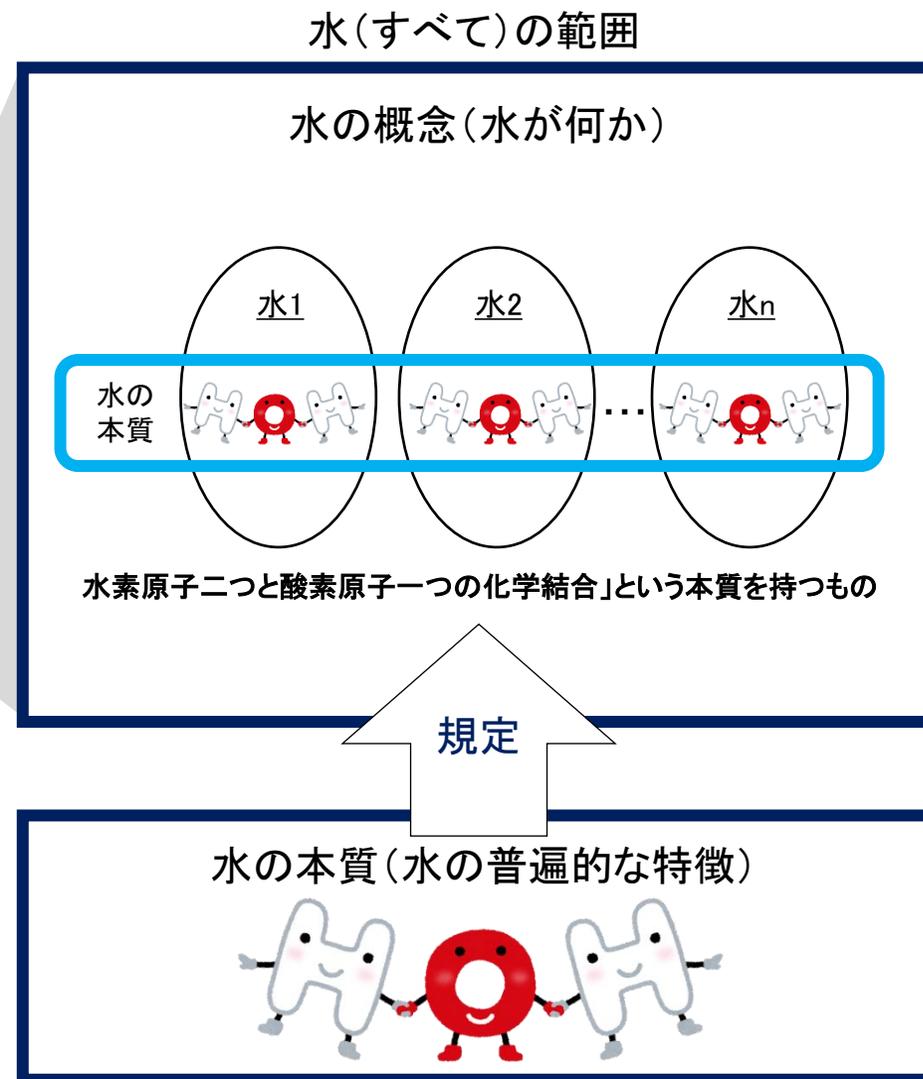
本質は、事物の概念、すなわち、事物が何かを規定する

自然科学では
本質が普遍的な特徴であることには気づかぬまま
自然の基礎的な事物を対象として
事物が何かを
「〇〇という普遍的な特徴を持つもの」
と定義してきた

人は、ある事物が何かを
「〇〇という本質を持つもの」と定義する
(普遍的な定義)

本質は
事物が何かを「〇〇という本質を持つもの」と規定する

※ 本質は、事物をそれたらしめる



【本質とは何かが分かることの意義】

概念の内包と外延

※「内包は、ある概念がもつ共通な性質のことを指し、
外延は、具体的にどんなものがあるかを指すものである」

※『「芸術」という言葉は、「自己表現」「人間活動」などの属性を内包とするのにたいして、
「演劇」「音楽」「絵画」「彫刻」「文学」などの非属性を外延として指す』

※ 外延は、などのような言葉を用いて具体例を途中で打ちきることが多い。

< Wikipedia >

人は、ある事物が何かを
「〇〇という本質を持つもの」と定義する
(普遍的な定義)

本質は
事物が何かを「〇〇という本質を持つもの」と規定する

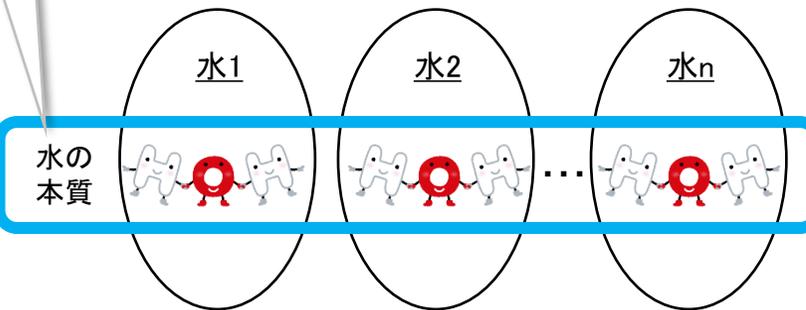
※ 本質は、事物をそれたらしめる

水の本質は
水の概念の
内包?

水の範囲は
水の概念の
外延?

水(すべて)の範囲

水の概念(水が何か)



水素原子二つと酸素原子一つの化学結合」という本質を持つもの

規定

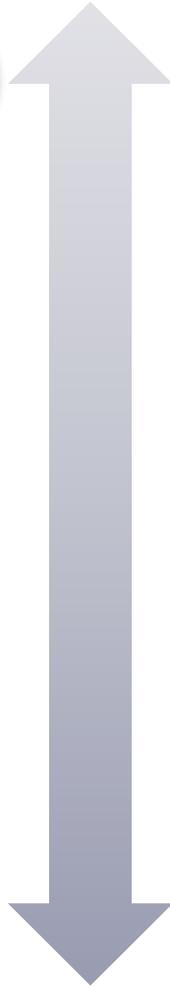
水の本質(水の普遍的な特徴)



【本質とは何か分かることの意義】 概念の階層

通常
現実の事物は
本質に加えて
多くの偶有性を持つ

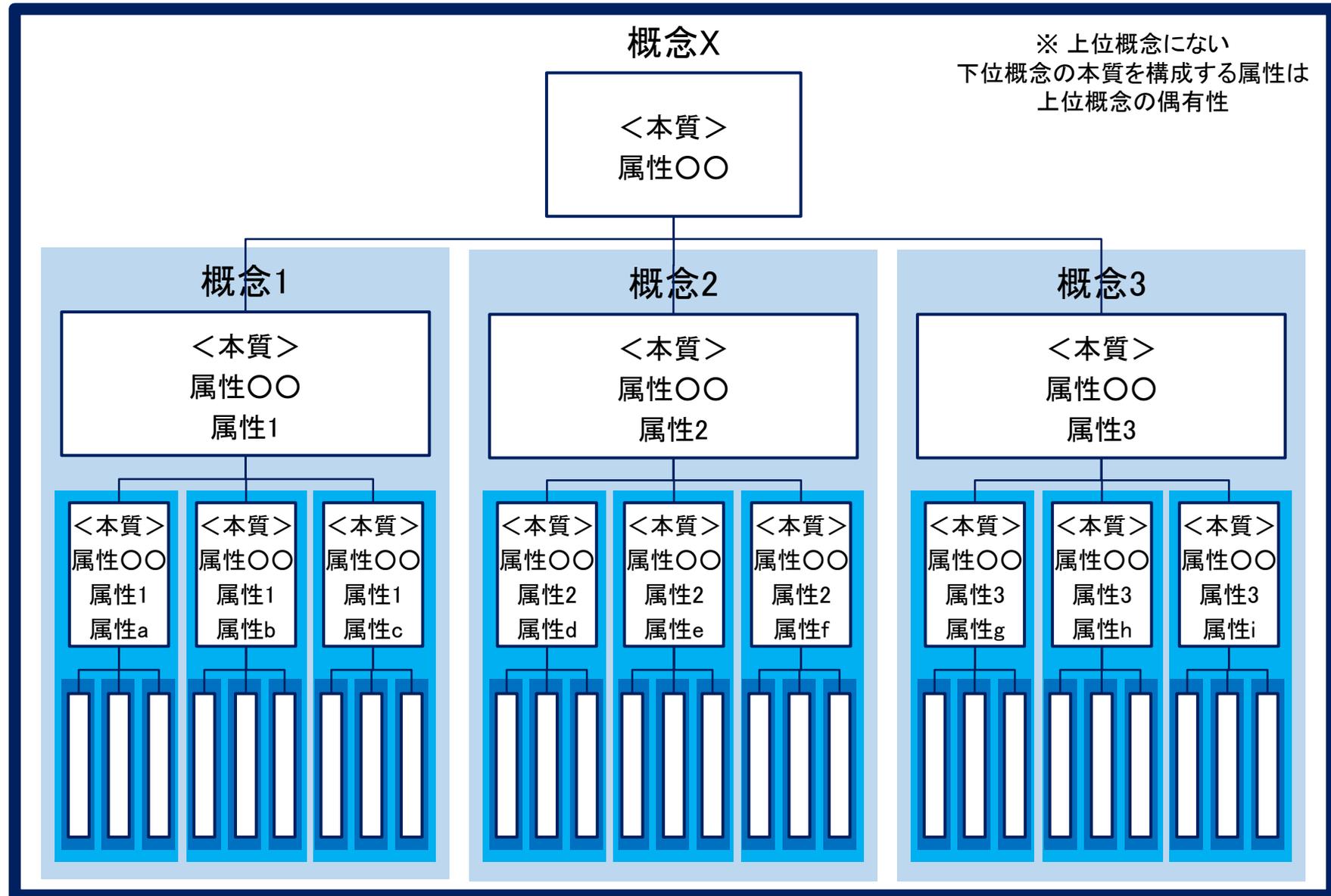
抽象化



Xの本質に
属性を1つ付加した
本質を持つ

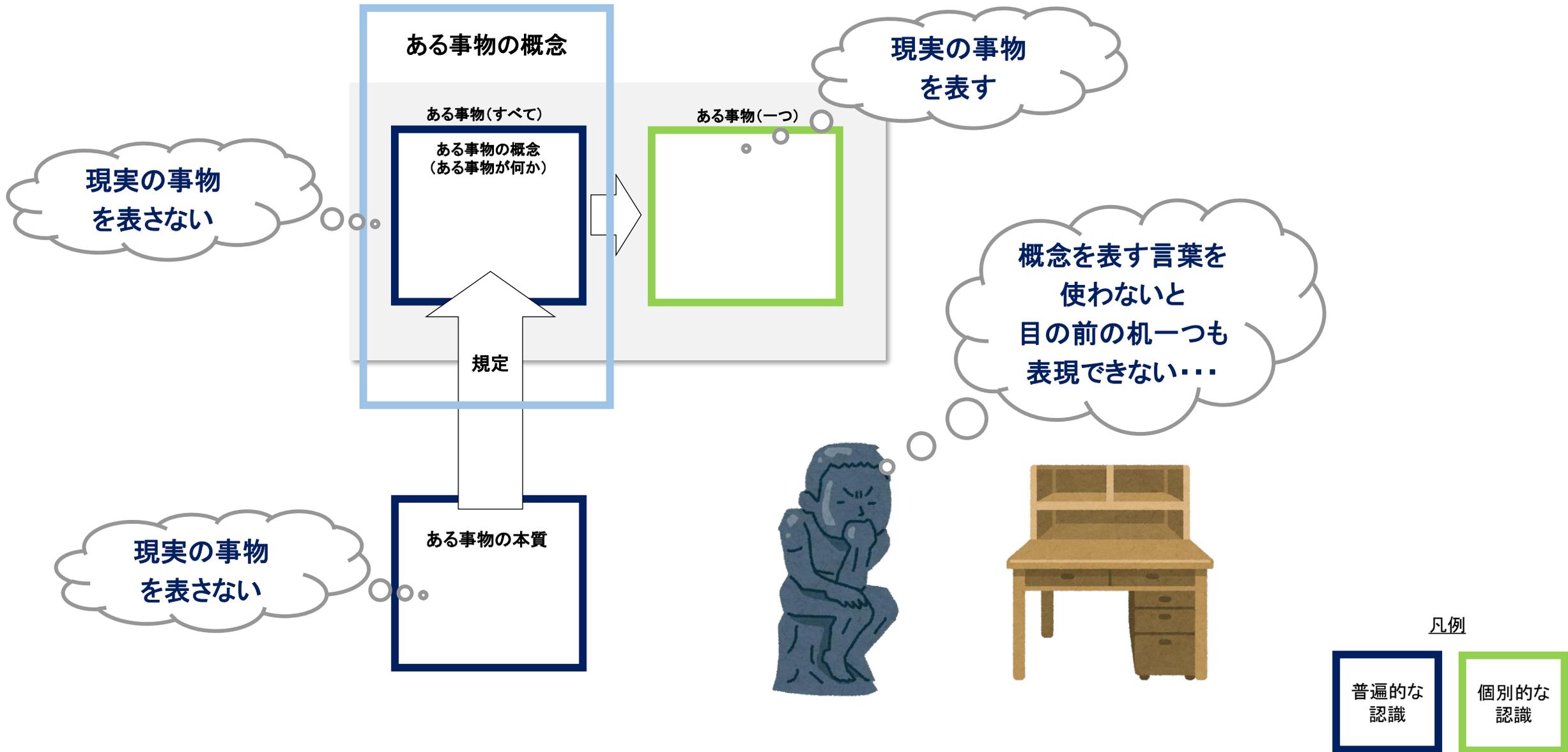
Xの本質に
属性を2つ付加した
本質を持つ

Xの本質に
属性を3つ付加した
本質を持つ



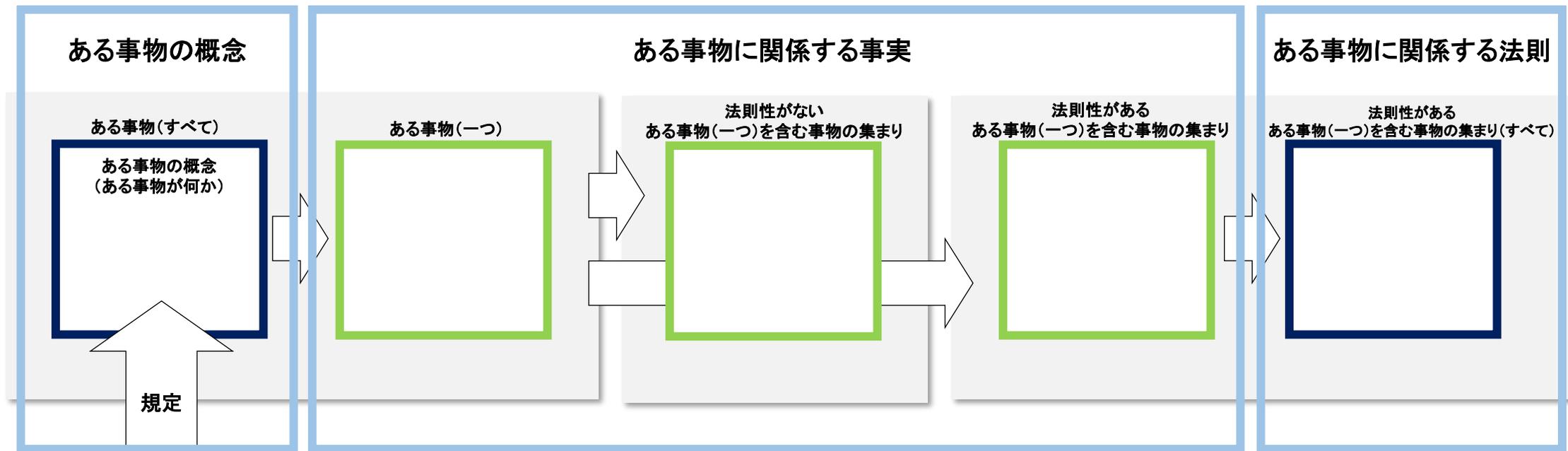
具象化

【本質とは何かが分かることの意義】
概念は、現実の事物を表さない



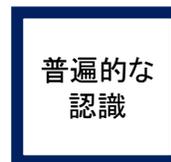
【本質とは何かが分かることの意義】

本質は、現実の正しい見方の根本である



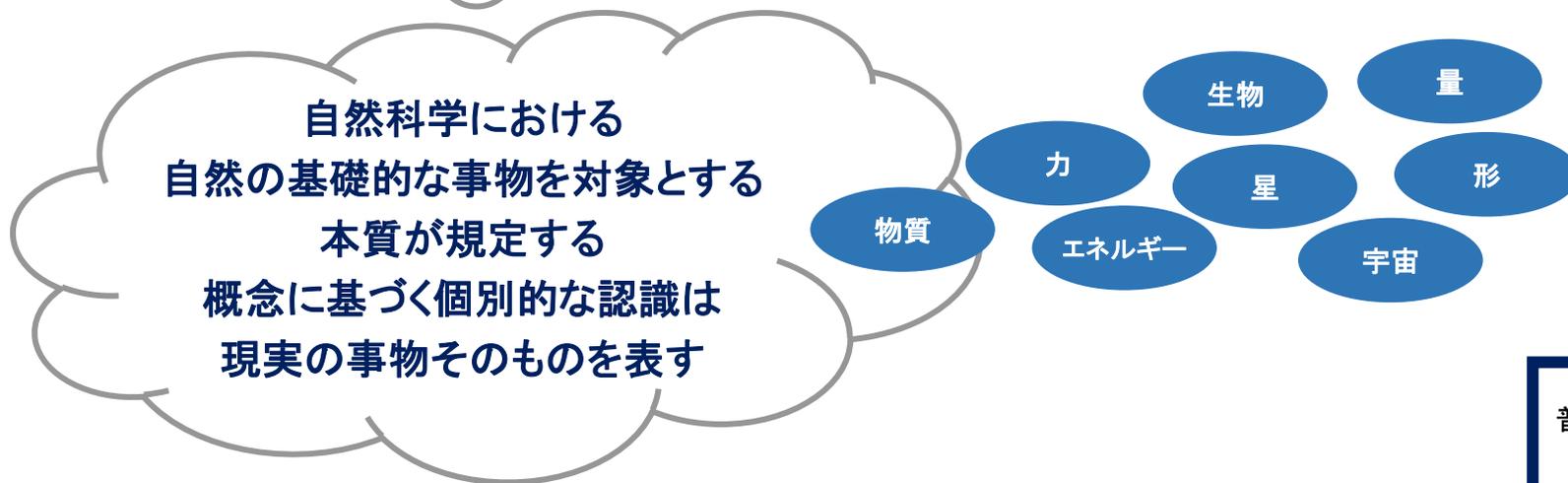
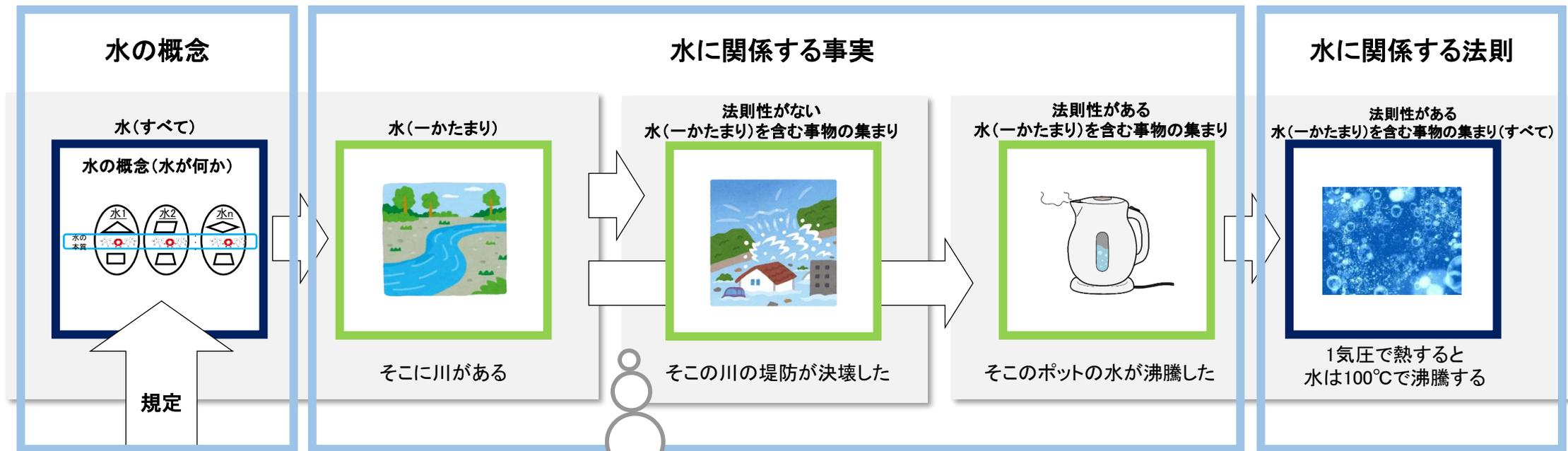
本質は 現実の正しい見方の根本

凡例



【本質とは何かが分かることの意義】

本質が規定する概念に基づく認識は、現実の事物そのものを表す

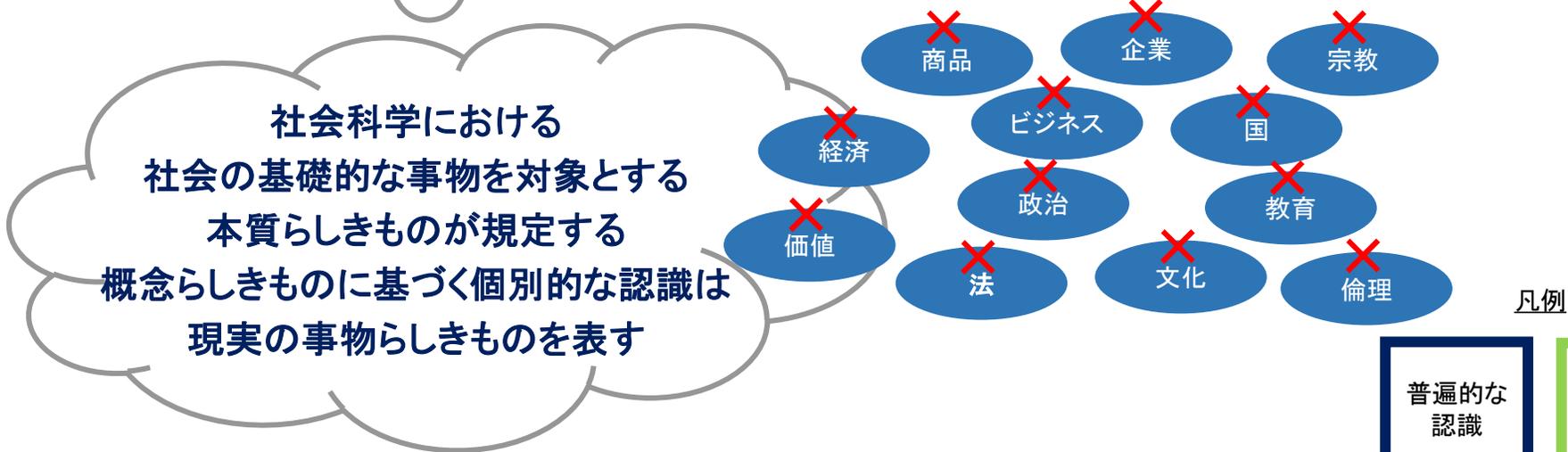
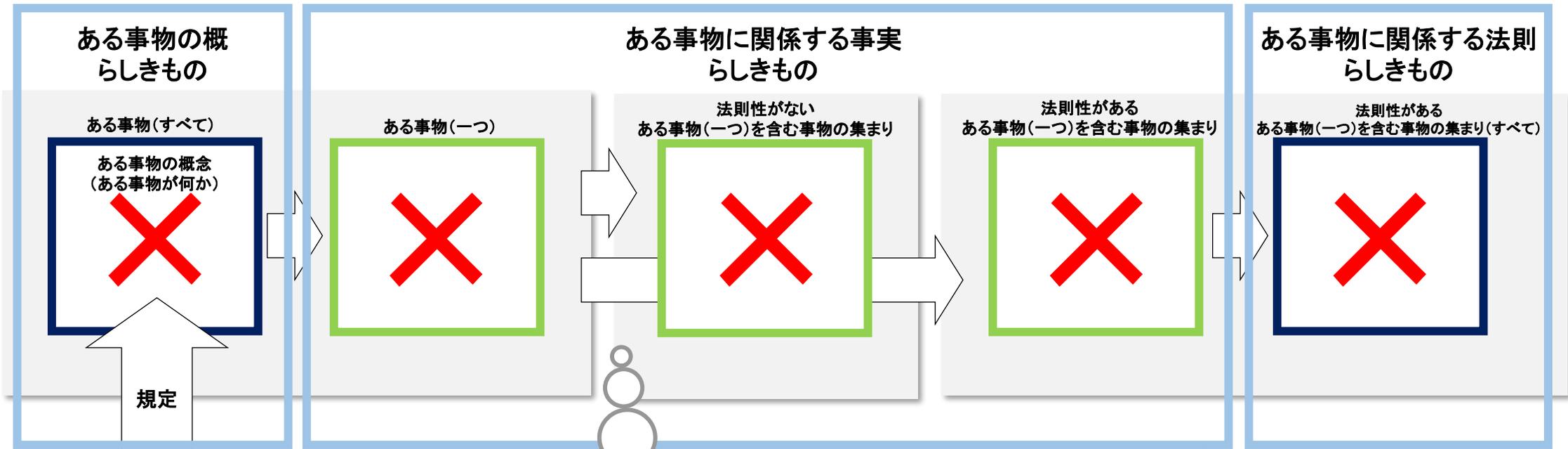


凡例



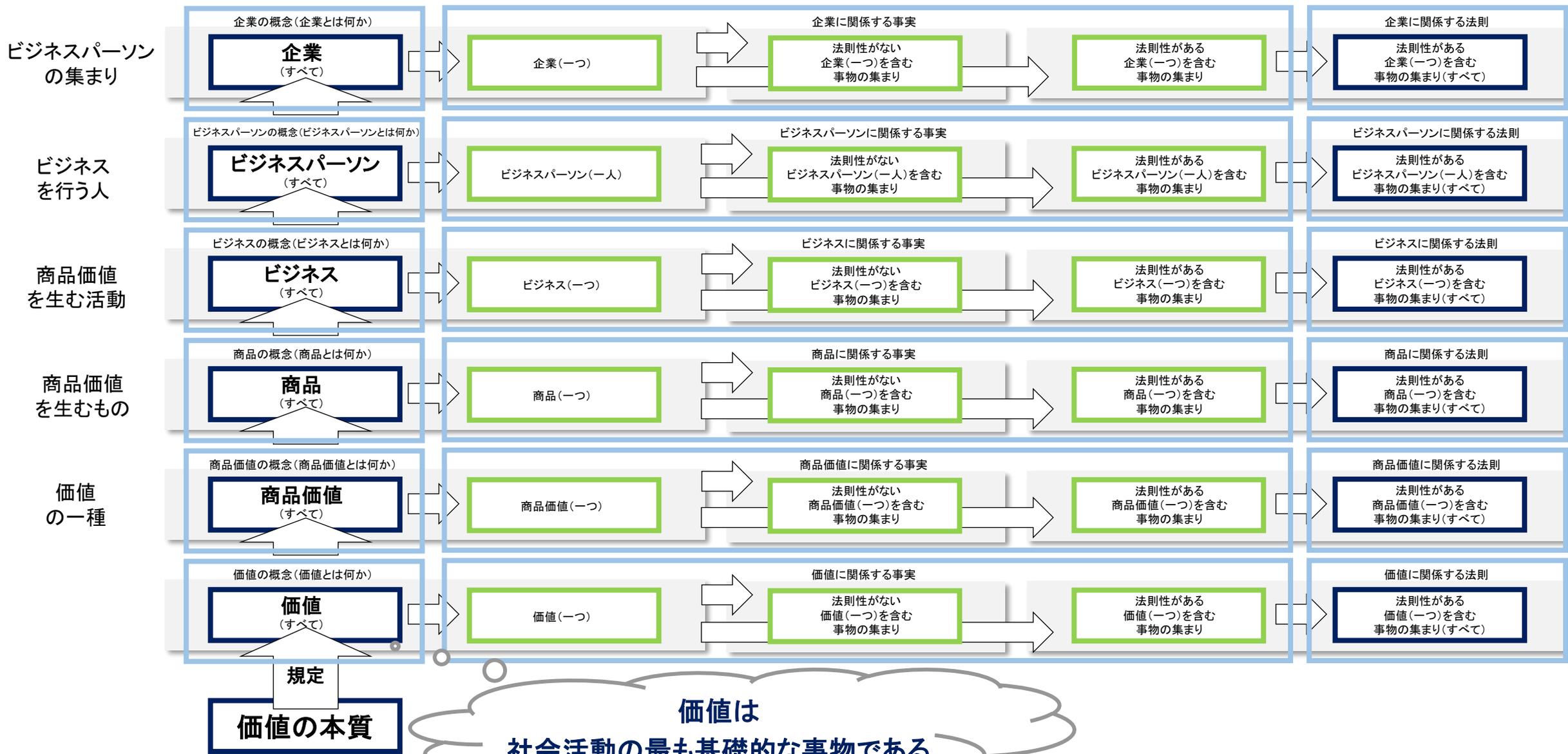
【本質とは何か分かることの意義】

本質らしきものが規定する概念らしきものに基づく個別的な認識は、現実の事物らしきものを表す



【本質とは何かが分かることの意義】

価値の本質が規定する諸概念に基づく社会的事物の個別的な認識は、現実の事物そのもののものを表す



【本質とは何か分かることの意義】

価値の本質らしきものが規定する諸概念らしきものに基づく社会的物事の個別的な認識は、現実の物事らしきものを表す

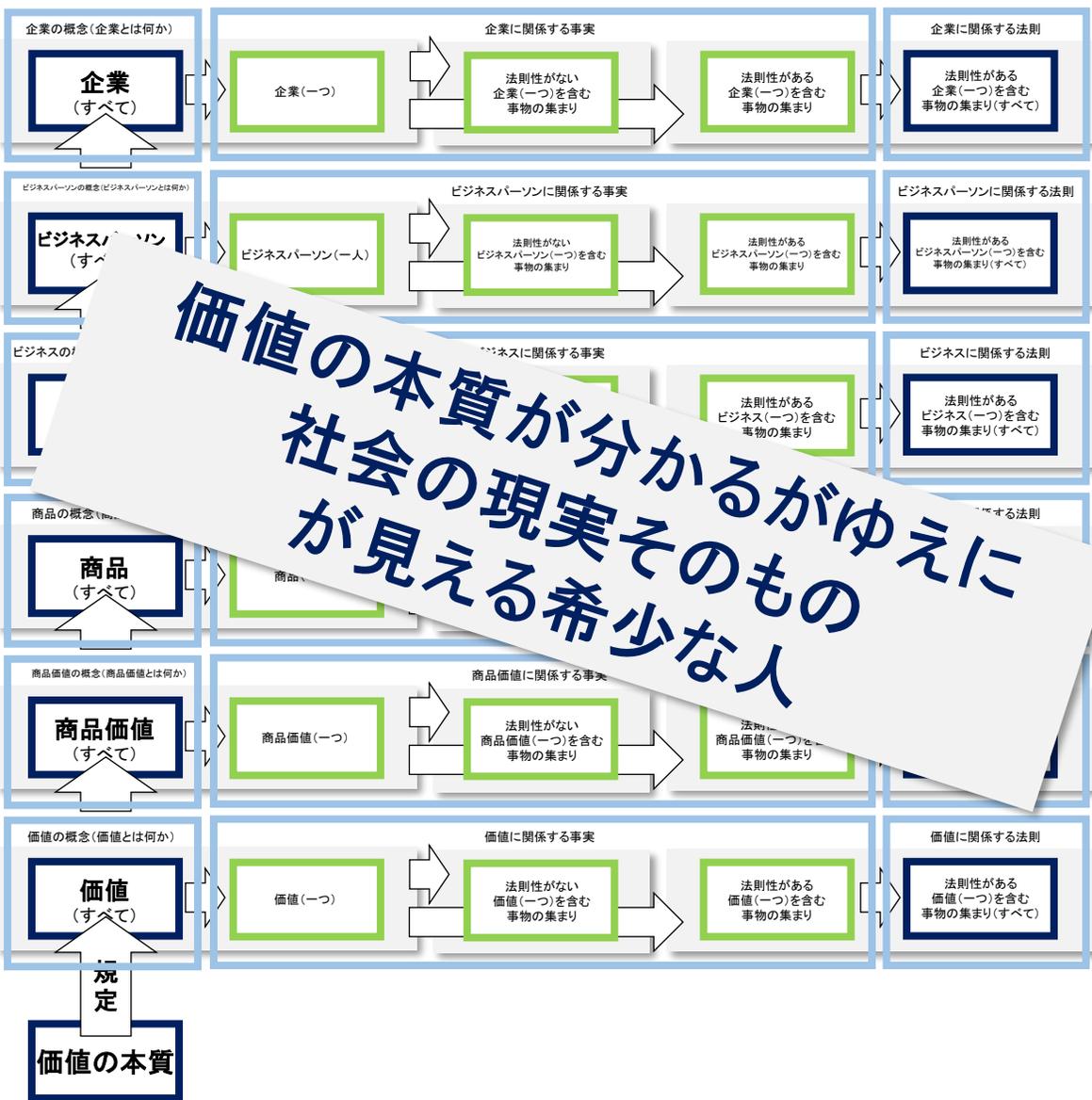


規定
価値の本質
らしきもの

世の中は
価値の本質が分かっていない

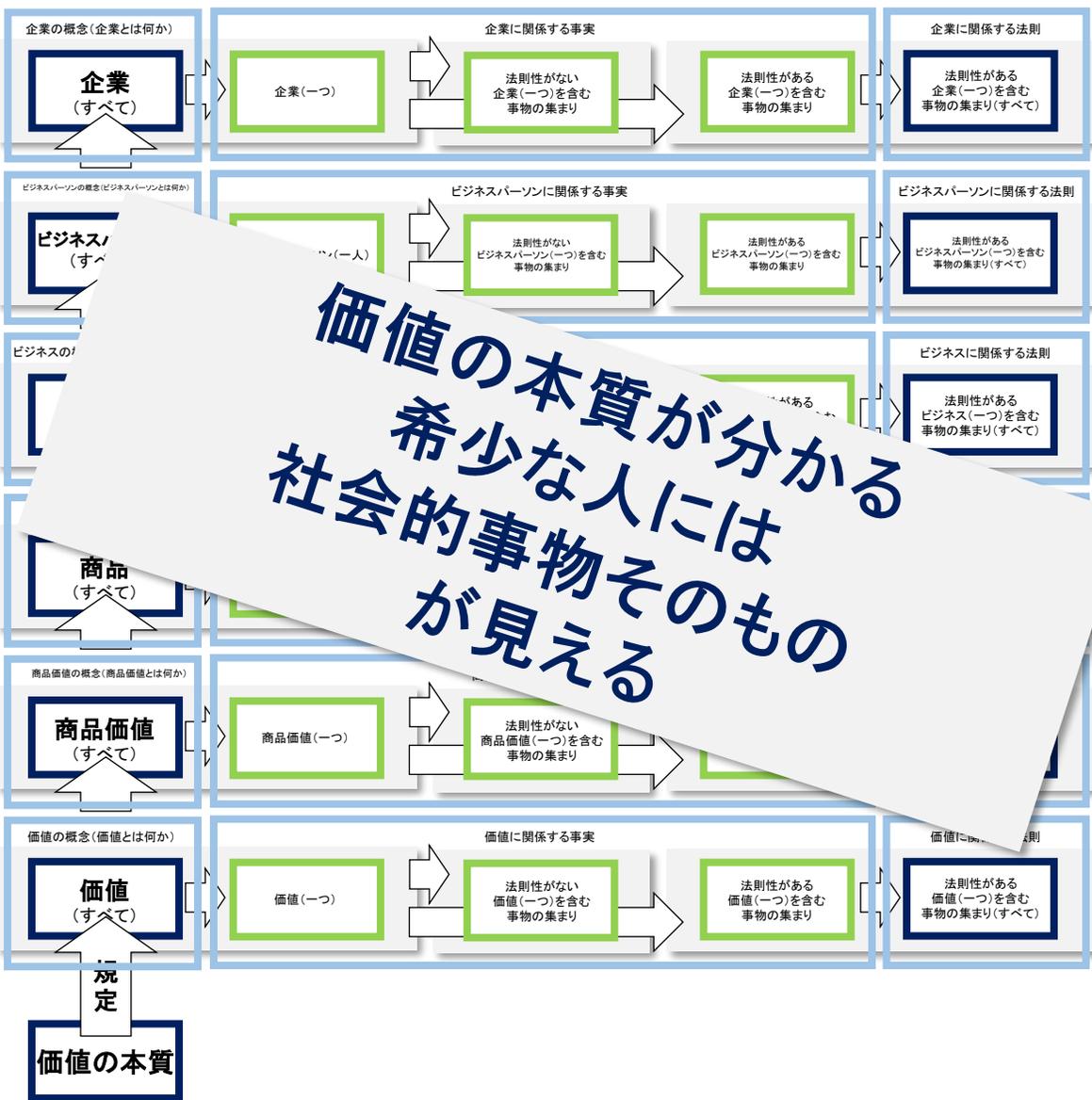
【本質とは何か分かることの意義】

価値の本質が分かると、社会の現実そのものが見える希少な人になる



【本質とは何か分かることの意義】

論理的に価値の本質を説明できると、社会の現実そのものが見える集団をつくりやすくなる



論理は
共有しやすい

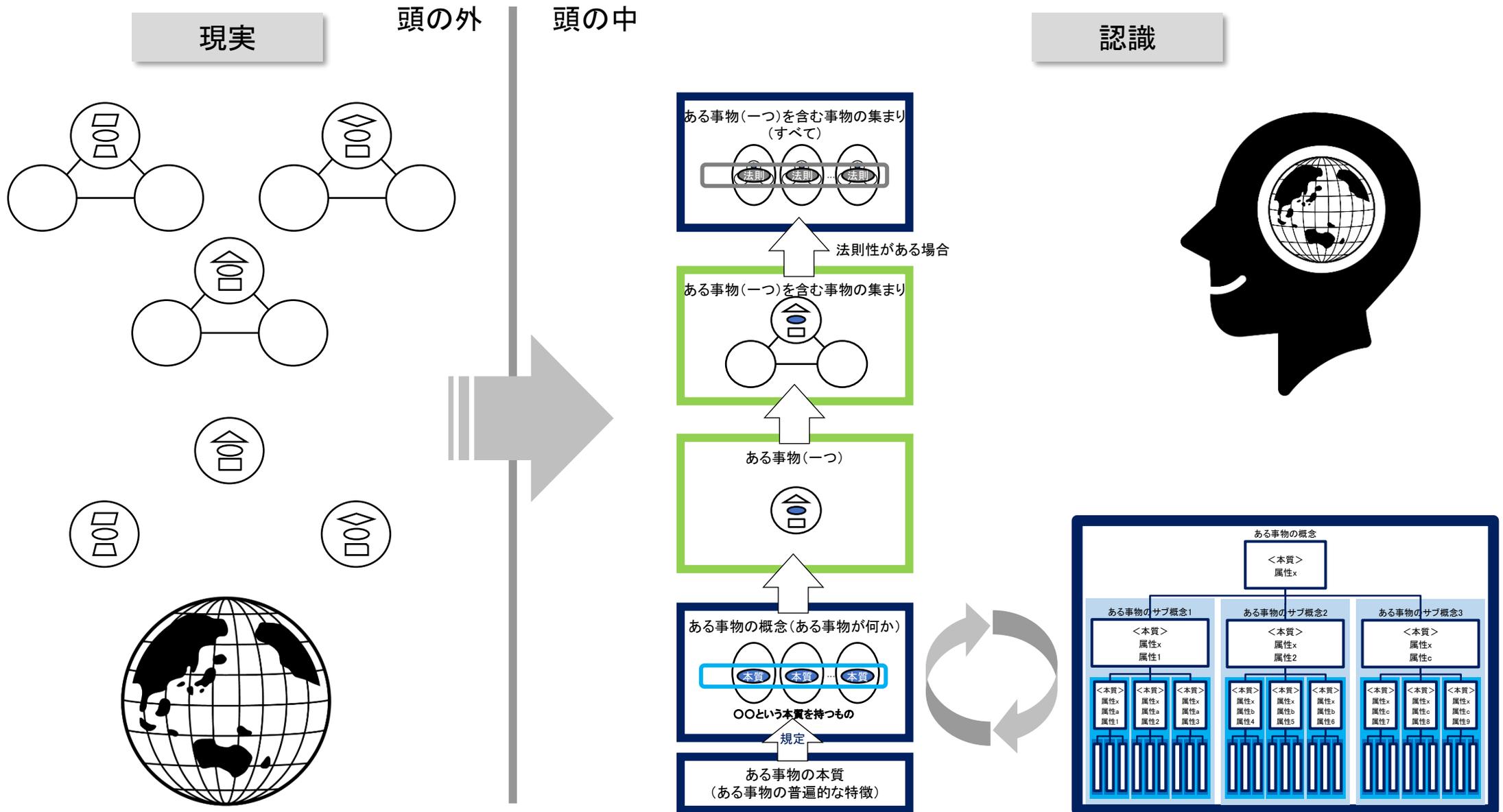
直感
共有しづらい

論理的に
価値の本質が分かる
極めて希少な企業

直感的に
価値の本質が分かる
カリスマ経営者
が率いる企業

【本質とは何かが分かることの意義】

補足： 現実と認識



どういう意味の
「根本的」？

本質は
「そのものの本来の姿」
を規定するもの

本質は
「内属」するもの
とは限らない

本質は
「不変(変わらない)」もの
とは限らない

「その本性を構成するもの」
とは？



1. 物事の**根本的**な性質・要素。**そのものの、本来の姿**。
2. 哲学で、存在するものの**基底・本性**をなすもの。
㊦ **偶有性**に**対立**し、事物に**内属**する**不変**の性質。
㊩ **実存**に**対立**し、**そのもののなんであるかを規定し、その本性を構成するもの**。
3. 論理学で、**思惟の対象を定義する諸限定**。**類・種**のごとき**普遍**をさす。

デジタル大辞泉

「そのもののなんであるかを規定するもの」
が何なのかとの問いへの答えが本質

「思惟の対象を定義する諸限定」の言い換えが
続く「類・種のごとき普遍」であるならば
それは本質ではない

本質は
「類・種」を規定するが
「類・種」ではない

